

広告



◀ 船が港に帰ってくるのは6時半ころ。
漁が多ければ8時半近くになることも。



味も品質も評判 石狩のサケ漁

石狩の代名詞ともいえる秋サケ漁が9月2日から始まりました。

今年は水温が高めながら「毎日約3.3キロのサケが1800尾くらいずつ捕れている」とは、石狩さけ定置網漁業生産組合の事務局長・鈴木隆夫さん。最盛期にはこの10倍くらいの漁獲量になり、漁師さんは休む間もなくなるといいます。

シーズン中は土日も休まず、30人の組合員が朝4時に起きて、5時ごろ2キロほど沖合いの漁場に向かい、10基ある定置網の中から大きなたも網でサケをくみ上げます。港に戻ると組合員が総出で、サケの仕分けをします。サケはオスとメスに分けられ、一部は漁港内の直売所でも販売します。今年はオスがキロ400円に対しメスはキロ700円（相場により変動）。サケの価格は筋子で決まり、イクラの在庫が少ない今年は、豊漁でも価格は下がりにくいといいます。

秋サケは10月末ころには漁期も終わるため、正味2カ月が勝負。今、石狩で捕れるサケのほとんどが千歳川から放流されたものといい、「味も品質も評判がいい」と鈴木さんも胸を張ります。

厚田や浜益でも行われているサケ漁。まさに“サケのまち”にふさわしい光景が、今日も市内それぞれの漁港で繰り広げられています。



▲ 水揚げされたサケの仕分け。

▼ 漁港内には、一般の方も朝捕りのサケが購入できる「さけ直売所」があります。



直売所情報

- 石狩「さけ直売所」
7:30～15:00（10月20日まで）
〒石狩さけ定置網漁業生産組合
☎62-5118
- 厚田「あつた港朝市」
7:00～14:00（10月20日まで）
〒石狩湾漁業協同組合本所
☎78-2006
- 浜益
詳細は直接お問い合わせください。
〒石狩湾漁業協同組合浜益支所
☎79-3225

いしかり産